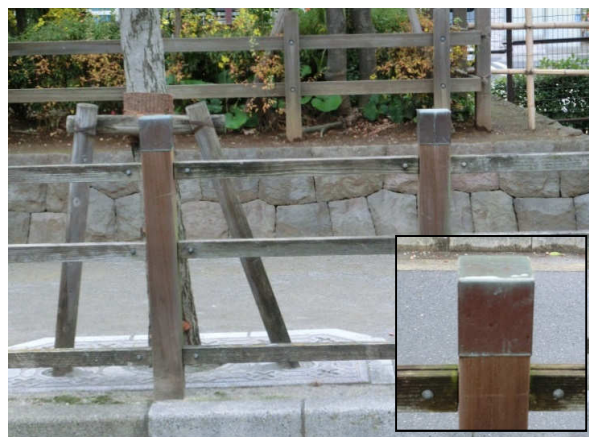


■レッドウツのフェンス(木柵) ～設置後19年後の姿～

＜葛飾区曳舟親水公園＞

レッドウツのオールドグロス(overgrown forest)は、過酷な土に接している所でも腐食は全く見られません、条件に恵まれた手摺部であっても、セカンドグロス(若木)を使用すると腐食してしまい景観を損ねてしまっています。同じレッドウツであっても素材により耐久性は大きく変わります。公共工事において、素材の良し悪しを見抜ける担当官は殆どいないでしょう。そのために保証が必要なのです。一方の写真は同時期に施工したボンゴシですが、全てが腐食し見る影もありません。ボンゴシは大手商社が35年40年の耐久性有りとして営業したをご覧の通りです。



レッドウツのオールドグロス(overgrown forest)は過酷な支柱に使用しても腐食無し。頭部は銅版キャップを施すことで耐久性をUPしています。

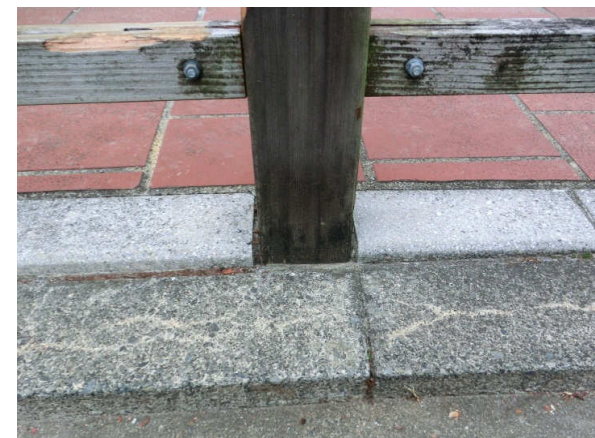


レッドウツのセカンドグロス(second growth forest)は条件の良い水平部材でも腐食が進んでいる。

所在地/東京都葛飾区亀有四丁目

施工/1993年2月

撮影/2012年1月



レッドウツのオールドグロス(overgrown forest)全ての支柱に腐食は観られない。



結合部は従来のホゾ組ではなく連結金物を使用し、支柱の側面に通気をよくすることで腐食の進行を防いでいます。

施工から1年後



施工から19年後

 Ai products

株式会社 藍工業
www.ai-products.co.jp